



## 西高の『学び』

<p>国語</p> 	<p>全学年、授業はじめに「10分間読書」を取り入れ、読書を習慣づけると共に語彙力、理解力等の国語の基礎力を身につけ、集中力も養います。文系必修「国語表現」や選択「古典A」を設定し、小論文指導にも力を入れ、多様な進路に対応します。また、漢字検定に積極的に挑戦させ、自主学習へ取り組む姿勢を育成します。週1回の漢字テストを実施して強化します。</p>
<p>地歴公民</p> 	<p>社会科としての基礎学力を定着させるために、振り返りプリントなどを各科目で行っています。また、時事問題をグループで討議したり模擬裁判員裁判を取り入れて論理的に考え、自分の意見を表明する力を育成しています。さらに入試対策として、希望者には公募制推薦の小論文指導を行っています。</p>
<p>数学</p> 	<p>「数学Ⅰ」「数学A」では、授業中に多くの問題を解き、実践的な学習によって、高校数学の基礎力を身に付けます。「数学Ⅱ」では、理系では単独の授業展開、福祉系・教育系・医療系は少人数展開し、文系も含めそれぞれの類型に合わせた指導を行います。学校設定科目「数学応用」では、特に理系の大学進学に対応できる力を強化します。また、個々の進路希望に合わせた補講も行います。</p>
<p>理科</p> 	<p>2年次より各類型に合わせた科目設定を行い、進路希望の実現を念頭に授業展開を行います。そのため、医療系に学校設定科目として「課題研究」を設け、人間と科学の関わりをより深く理解します。また、東京大学 CoREF と連携して、「協調学習」を用いた授業を積極的に取り入れ、一斉授業・暗記型の学習から思考型の学習への転換と定着に取り組んでいます。</p>
<p>英語</p> 	<p>1年次からALTとのティーム・ティーチング等を取り入れ、積極的なコミュニケーションが図れるようにします。発音力の強化のために音読テストも取り入れます。学校設定科目の「英語総合」では、進学に対応できる英語力を目標として取り組みます。英語検定に積極的に挑戦させ、自主学習への意識付けを図ります。</p>
<p>保健体育</p> 	<p>健全で健康的な生活を支えるための、体力向上と身体や心の知識を習得できるように指導します。また、体育祭・ロードレース等の行事を通して、学年を超えての競争意欲や団結力を育てます。選択科目として「スポーツⅡ」を設け、体育系への進路希望者のために公正・協力・責任などの社会的な態度や公正な審判や運動の企画運営もできる資質やリーダー性を育成します。</p>
<p>芸術</p> 	<p>「芸術Ⅰ」「芸術Ⅱ」を通し、音・美・書共に、授業への積極的な取組みを図り、芸術に対する興味・意欲を高めるとともに、個々に有意義な技量の習得や意識向上を図ります。また、さらに継続して専門性を深めたい生徒には「芸術Ⅲ」、進路実現やその後の社会生活に役立つ専門的な科目として、音楽では「ソルフェージュ」、美術では「クラフトデザイン」、書道では「実用の書」を設定して指導します。</p>
<p>家庭</p> 	<p>「家庭総合」では、日常の生活に目を向け、生活力を向上させるための実習・実演を多く取り入れています。選択科目として「子どもの発達と保育」「フードデザイン」「ファッション造形基礎」を設定し、専門的な知識と技術の向上を図るとともに保育技術検定や食物調理技術検定、被服製作技術検定を受検させ、積極的に資格取得を行い、進路実現にも繋がる指導を行います。</p>
<p>情報</p> 	<p>「情報と社会」では基礎知識の理解と基本的な技術の習得を中心として学び、2年次の選択科目「情報の表現と管理」では各種ソフトを使い、発信能力を伸ばすことを目指します。3年次の選択科目「課題研究」では、多面的な情報の活用を学びます。全学年を通して、情報検定に挑戦させ、積極的な資格取得を行い、進路実現に役立っています。</p>
<p>福祉</p> 	<p>選択科目「社会福祉基礎」を学び、社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、車椅子体験等の実習を通して、福祉に対する理解を深めます。また、専門科目を学ぶことで、福祉系進路に対する意欲を高め維持し、毎年複数の福祉系学校進学者や介護施設就職者の基盤となっています。</p>
<p>商業</p> 	<p>選択科目「簿記」を通して、簿記に関する基礎的な知識を習得し、主に検定試験問題を用いて実践力を育成します。「簿記」選択者には、1年間で全商簿記検定3級を取得させ、商業系進学者や事務系の就職希望者の進路に役立っています。</p>